

ふーぬ風

発行 〒901-1115
沖縄県南部農業改良普及センター
TEL：(098) 889-3515
FAX：(098) 835-6010

南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では、「沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月策定）」及び「沖縄21世紀農林水産業振興計画（平成25年3月策定）」に基づき、本県農業の振興に向け、「おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備」、「担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化」など、諸施策を選択的かつ集中的に展開しているところであります。特に、平成28年度は、沖縄21世紀ビジョン基本計画前期（5年目の節目）の締めくくりとなる重要な年度となっており、成果目標の達成に向け取り組みを強化しているところであります。



南部農業改良普及センター管内では、野菜、熱帯果樹など消費者ニーズに即応した作物の生産振興に取り組んでおり、さとうきび、養豚をはじめ、花き、乳用牛、鶏、肉用牛、かんしょなどの生産も盛んであり、これらの品目を柱としながら、拠点産地を中心とした産地の形成拡大やブランド化を振興方向としております。また、生産性の向上などを図るため、地下ダムの整備をはじめ、農地及び施設等の整備、農業機械の導入など、生産基盤は充実しつつあります。

このような中、管内の農業においては、担い手の育成確保や栽培技術の高位平準化、生産・出荷体制の強化、生産コストの削減、農作業の省力化、環境に配慮した農業生産の実現、農地流動化による規模拡大、防災農業の確立など、今なお多くの課題を抱えております。

このような状況を踏まえ、平成28年度は以下の4つの課題を普及計画の柱とし、重点的に普及活動を展開します。

1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、甘しょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業者等の支援、地域特産物の活用、鳥ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これらの課題解決に当たっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し、地域農業の振興に取り組む所存であります。関係者の皆様には、今後とも農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(南部農業改良普及センター所長 宮里 太)

平成28年度 南部農業改良普及センター活動体制

普及企画班
班長 根路銘 利加
主幹 儀間 靖

所長
宮里 太

地域特産振興班
班長 山口 悟

園芸技術普及班
班長 大城 和久

離島駐在

地域調整	根路銘利加
地域営農	仲本優子
担い手	儀間 靖 宮尾澄生 喜舎場みさき
農業経営	安藤さやか
庶務	志良堂 史 糸数裕子 (知念嘉乃)
特産物	山口 悟 屋良久美子 豊里麻子
工芸作物	村山盛敏
作物	友利研一
畜産	細井伸浩 二宮恵介
花き	當間ひろの 新里亜希子 玉城優太
野菜	崎山澄寿 神山桂子 安次富由乃
	松原光里 金城實秋
果樹	大城和久 下地聡子 (高原寛剛)

久米島町：西田公一 南大東村：亀山健太 北大東村：安仁屋政竜

()は臨任職員

土づくりと土壌診断の考え

1. 土づくりの意義

土づくりとは、土壌の物理性、化学性、生物性(下図)を改良することによって、作物の生育に合った土壌環境を整えることです。

土壌の保水性・排水性を改善し、次に土壌pHや土壌養分量・養分バランスを整え、さらに土壌生物等の育成密度や多様性を増加させることによって、地力の増進を図ることができます。

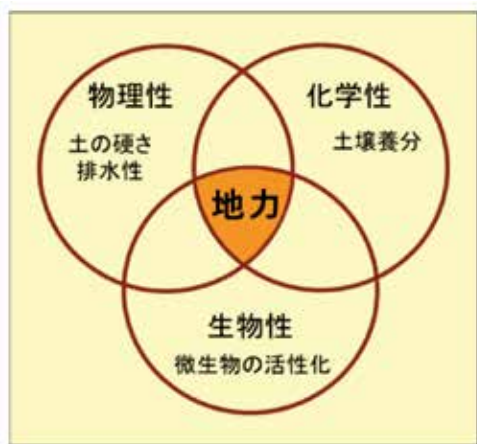


図 自力の三要素

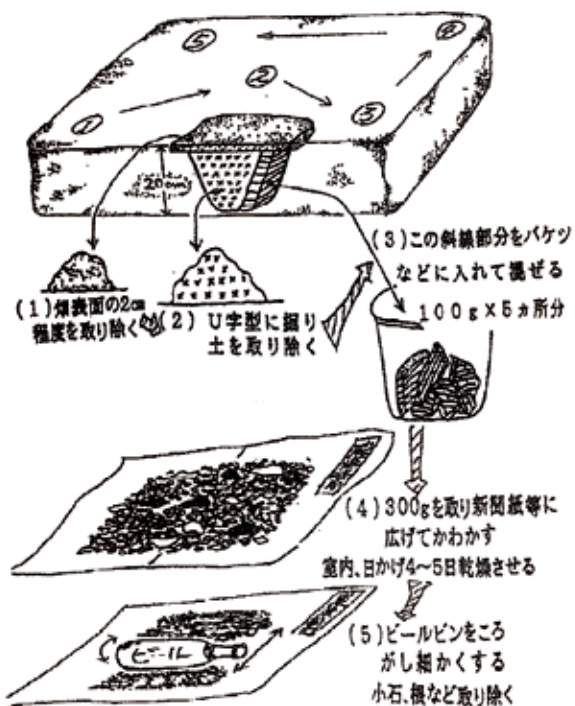
2. 分析項目について

以下の8項目について分析します。

【分析項目】	【項目から判ること】
土壌pH	土壌中の酸度、養分吸収に影響
EC(電気伝導度)	塩類集積や減肥の目安
CEC (陽イオン交換容量)	土壌保肥力
腐植	有機物含有量の目安
交換性石灰	吸収できるカルシウム量
交換性苦土	吸収できるマグネシウム量
交換性加里	吸収できるカリウム量
可給態リン酸	吸収できるリン酸量

表 土壌分析診断項目

3. 分析土壌の取り方



4. 土の提出方法

- ①提出期限は分析月日の所定の期日までに提出してください。
- ②所定の「土壌サンプル票」に記入のうえ、土と一緒に提出してください。
- ③分析件数に限りがあるため、必要最小限の点数を提出してください。
- ④提出はJA各支店で受け付けています。土壌診断結果の配布もJA各支店(生産部会等)を通して行います。
(JA生産部会員、組合員以外については南部農業改良普及センターにおいても受け付けております)。

5. 土壌検診週間

土づくり推進活動の一環として、土壌検診週間を下記の日程で、計画しております。

H28年度土壌分析週間：
平成28年7月11日(月)～7月15日(金)まで

(園芸技術普及班 安次富 由乃)

豊見城市トマト産地のトマト誘引法

～ 1本仕立て蔓おろし法と1本仕立てUターン法～

豊見城市トマト産地は県内唯一の産地であり、現在この産地のトマト誘引法は2とおりある。その一つは1本仕立て蔓おろし法でこの産地が形成される以前から中城村の和宇慶地区で開発された技術で長年定着して実施されてきた。この誘引法は蔓おろし作業に時間がかかり栽培面積の拡大が難しかった。しかしながら近年、J A豊見城支店トマト共選部会では独自の1本仕立てUターン法を実施しその誘引法を広めてきた。この方法は誘引作業が簡単で時間がかからず栽培面積の拡大できる利点から現在ではトマト産地の7割を占めている。しかしながらこれら2つの誘引方法にはそれぞれ利点、欠点がある。それを表に示すと下記のとおりである。

表1：トマト誘引方法による利点と欠点

項目	1本仕立て蔓おろし法	1本仕立てUターン法
利点	<ul style="list-style-type: none"> ○株が整然と立並び立体感がある。 ○蔓の折損が少ない。 ○株の生育が旺盛で順調である。 ○トマト単品目で長期栽培できる。 ○栽培が長期取り栽培型で反収及び生産量が高い。 ○節間の長い品種でも摘要できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○誘引作業に時間がかからず栽培面積拡大ができる。 ○誘引時にスレ果、傷果がない。 ○果実が確認しやすい。 ○栽培が短期栽培型で他作物と輪作ができる。
欠点	<ul style="list-style-type: none"> ○蔓おろし作業で時間がかかり栽培面積の拡大が難しい。 ○摘枝作業に時間がかかる。 ○果実確認のため過度に摘葉する。 ○誘引時にスレ果、傷果が発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○摘枝作業に時間がかかる。 ○節間の長い品種には向かない。 ○栽培期間短く反収がやや少ない。 ○蔓の折損があり3～4%の発生。 ○折損部以降の生育不良枯死する。

表2：2つの誘引法の比較調査結果 (209日目：平成27年9月17日～平成28年4月13日)

項目	1本仕立て蔓おろし法	1本仕立てUターン法	差
品種	りんか409	りんか409	
蔓長 (cm)	412	393	19
節数 (節)	50.2	48.4	1.8
果段数 (段)	15.0	13.5	1.5
茎折損率 (%)	0	3.3	3.3

写真1：1本仕立て蔓おろし法



写真2：1本仕立てUターン法のトマト栽培の様子。通路は狭く、蔓が密集している。



まとめ

トマト誘引方法

豊見城市トマト産地ではJ A豊見城支店トマト共選部会が実施しているUターン誘引方法は7割の普及が図られているが、トマト栽培において栽培管理が簡単で面積が拡大できる利点はあるが、茎の折損改善とそれ以降の生育不良と枯死対策、単収の向上を図る必要がある。また節間が長く節数、着果段数が少ない品種はこの誘引法には向かない。蔓おろし法の利点「トマトの長期栽培、単収及び出荷量の向上、蔓を折損させない」を取り入れ、両誘引法の利点を生かした誘引法の開発改善が今後必要である。

～適期病害虫防除により高品質なイモを作しましょう～

イリムサー防除のポイント

イリムサー（イモゾウムシ、アリモドキゾウムシ）の幼虫によるかんしょの被害は地際部の茎→塊根の順で発生し、茎にいる虫を防除すれば、イモには被害が及ばないことが分かっています。

防除の要否の判断は、植付後45日目頃から観察を始め、地際部の茎100本のうち5本以上に被害がみられる(被害率5%以上)かどうかを目安に行いましょう。畑周辺部、特に発生源に近い側から早く被害が出ますので早期発見・防除ができるよう被害の発生状況について注意しましょう。

連作ほ場や被害の多いほ場、多発地域では、植付時からの防除を心がけましょう。



左：イモゾウムシ、右：アリモドキゾウムシ



左：幼虫の被害、右：成虫の脱出した穴

《農薬による防除法》

作物名	農薬の名称	適用害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
かんしょ	プリンスベイト	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ コガネムシ類 ハリガネムシ類	6kg	植付時	1回	植溝処理 土壌混和
	ダズバン粒剤	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6kg	生育期 (但し、収穫 30日前まで)	2回	株元散布
		コガネムシ類	9kg			全面散布
		ハリガネムシ類		植付時	全面土壌混和 又は 植溝土壌混和	
	トクチオン細粒剤F	コガネムシ類幼虫	6~9kg	植付時	1回	植溝又は 作条土壌混和

※農薬の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を確認して使用してください。

《耕種的防除法》

耕種的防除法として収穫後の屑イモや蔓をほ場に放置せず、きちんと処分して下さい。また、イモの連作を避けるようにして下さい。

病害虫の多発生に気をつけよう！

梅雨明けから葉を食害する害虫が発生し、イモの生育に影響を及ぼす被害を受けることがありますので適宜防除に努めましょう。

《主な葉食害虫と防除農薬》

エビガラスズメ	イモコガ (イモキバガ)	ナガジロシタバ	ヒルガオホモグリガ
ハクサップ水和剤 アグロスリン水和剤 ランネート微粒剤	ハクサップ水和剤 ラービン水和剤 75 ラービフロアブル スミオチン乳剤	ハクサップ水和剤 ラービフロアブル アグロスリン水和剤 トレボン乳剤	エルサン乳剤 エルサン粉剤

※農薬の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を確認して使用してください。

真夏だけじゃない！熱中症の恐怖！

これからいよいよ夏本番となります。この時期の農作業中に気を付けなければならないのが熱中症です。梅雨の合間の蒸し暑い晴れ間や梅雨明け直後は体が暑さに慣れていないため、熱中症が発生しやすく、沖縄県では熱中症患者数は6～7月にかけて増加します。

作業はできるだけ涼しい時間帯に行い、こまめな休憩と水分・塩分補給を心がけましょう。

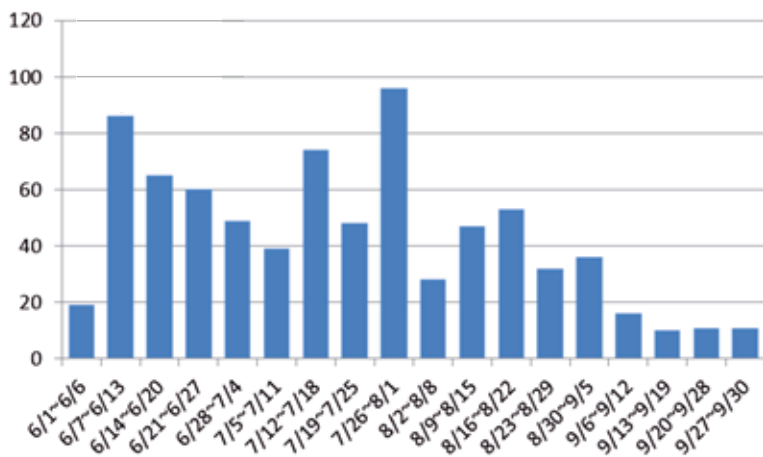


図 1. 平成 27 年度沖縄県熱中症発生状況 (週毎)



図 2. 熱中症が起こりやすい環境

重症度	I 度	II 度	III 度
重症度	I 度	II 度	III 度
症状	めまい、たちくらみ 手足のしびれ こむら返り	頭痛、吐き気 倦怠感 集中力や判断力の低下	意識がない 痙攣する 呼びかけへの反応がおかしい うまく歩けない
対処	涼しい場所に移動 安静にして水分・塩分補給 良くならない場合は病院へ	I 度の処置に加え、衣類を 緩め積極的に体を冷やす 口から水分を摂取できない場合 や症状が良くならない場合は 病院へ	II 度の処置をおこないつつ 救急車を要請する

図 3. 症状の分類と対処

水分補給にも工夫が必要です。熱中症予防に最適な塩分濃度は 0.1 ～ 0.2% とされています。これは、1 リットルの水に食塩 1 ～ 2 つまみに相当します。糖分は塩分の吸収を助けますが、市販のスポーツドリンクは糖濃度が高いものもあるので、以下のような工夫をすると良いでしょう。

熱中症対策スペシャルドリンクの作り方

スポーツドリンク 500ml + 水 500ml + 食塩 1 つまみ

～南部地区農業青年クラブ連絡協議会 定期総会の開催～

平成28年度南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が5月13日(金)に南部普及センターで開催され、クラブ会員20人と関係機関が集まる中、全ての議案が承認されました。

新会長となった小田哲也氏(南城市農業青年クラブ)からは、「これまで先輩が培ってきた活動を通して、クラブ員個々の顔が見えるような、楽しく魅力ある活動を実施していきたいので、皆さんの協力をよろしくお願いします。」

とあいさつがあり、抱負と参加者へ今後の参加を呼びかけた。平成28年度はクラブ員間の圃場視察・交流会の計画があり、会員の期待が高まっています。



新役員紹介



会長：小田哲也氏
(南城市農業青年クラブ)



副会長：大城義明氏
(八重瀬町ファーマーズクラブ)



事務局長：大城直樹氏
(南城市農業青年クラブ)



理事：新垣真人
(南風原町農業青年クラブ)

南風原町農業青年クラブが全国農業青年クラブ 連絡協議会会長賞を受賞

平成27年度優秀農業青年クラブ等の表彰で南風原町農業青年クラブ連絡協議会が、これまでの優れた活動実績を認められて、全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を受賞しました。南風原町農業青年クラブ連絡協議会は、昭和56年に設立され、県内の農業青年クラブが衰退する中、町内の農業青年者数19名の半数以上の10名がクラブに加入し、クラブ員相互の資質向上、地域での農業への理解や地産地消を促すために組織活動を展開しています。

主な活動として定例会、学習・研修会、交流会。農業祭への出展、保育園、幼稚園等の農業体験学習としてのミニミニ菜園づくり、イクメン料理教室、社会貢献活動として小中学校での農業ボランティア講師、ひまわり緑肥事業、耕作放棄地再生利用事業活動の他に、他市町村のクラブ員や新規就農者からの営農相談にも自らの就農体験を基にした相談窓口的な存在となっています。このような活動に地域からは、次世代を担う青年農業者組織として、益々期待されています。



(受賞式参加者：国立オリンピック記念少年総合センター)

さとうきび作の生産回復を目指して

北大東村では近年、基幹作物のさとうきびの減産が続いていました。

対策として展示ほを設置し、新技術等の現地適応性を検討しながら現地検討会で周知を図りました。

(1) 品種比較

F161 を標準品種とし、比較品種・系統として NiH25、Ni27、Ni28、Ni29、NiN30、RK97-14 を植付けた。

表1. 発芽・生育調査データ

品種名	発芽調査データ		3月調査データ			備考
	発芽率 (%)	分けつ発生株数(株)	板茎長 (cm)	生育茎数 (本/10畝)	芯枯れ茎数 (本/3畝)	
F161	52	5.0	45.3	10,662	21.0	
NiH25	52	4.0	76.0	7,330	4.0	根腐れ病多い
Ni27	63	7.5	80.5	10,186	9.0	根腐れ病が一部発生
Ni28	71	5.0	59.6	12,376	11.0	サビ病多い
Ni29	53	6.5	68.2	10,614	27.0	
NiN30	78	14.0	92.1	13,756	29.0	分けつ茎発生早い、肥地管理しやすい
RK97-14	72	7.0	84.0	11,900	13.0	太茎

※植付日：2015年9月16日、発芽調査：10月21日
3月調査：2016年3月31日

調査の結果、発芽率は Ni28、NiN30、RK97-14 が高く、初期伸長性はどの品種も F161 より長かった。

また、冬春期間中の長雨で NiH25、Ni27 に根腐れ病が発生し、NiH25 は生育不良であった(表1)。

○有望品系として下記の2品種・系統を選抜した。

NiN30：生育初期からの分けつ茎の発生が多い為に茎数が多い、また、茎が直立性で横に広がらず管理作業がし易い

RK97-14：発芽が良く、茎数が多く、太茎。



図1. NiN30とF161の生育比較(2016年3月)

風折・潮害抵抗性、干ばつ抵抗性を継続調査する。

(2) メイチュウ類に対する新規農薬の比較

オンコル OK 粒剤→スミチオン乳剤を標準とし、下記の4体系を比較した。

- ①オンコル OK 粒剤→ダントツフロアブル
- ②オンコル OK 粒剤→サムコルフロアブル+バッサ乳剤混用
- ③プリンスベイト粒剤→スミチオン乳剤
- ④プレバソン粒剤

表2. 芯枯れ茎数の推移(2015年～2016年)

区名	11月26日 3畝芯枯れ数	12月9日 3畝芯枯れ数	3月31日 3畝芯枯れ数
標準 オンコルOK粒剤→スミチオン乳剤	6	9	29
①オンコルOK粒剤→ダントツフロアブル	4	5	19
②オンコルOK粒剤→サムコルフロアブル+バッサ乳剤	1	2	4
③プリンスベイト粒剤→スミチオン乳剤	1	1	16
④プレバソン粒剤	1	1	3

※3畝芯枯れ数：畦幅1.5m×畝長7m×3畝=31.5㎡の芯枯れ茎数

②のオンコル OK 粒剤→サムコルフロアブル+バッサ乳剤混用区、④のプレバソン粒剤の芯枯れ茎数が少なかった。

この事からサムコルフロアブルとプレバソン粒剤の殺虫効果の高さ・持続性が実証された(表2)。

北大東村さとうきび生産組合主催で現地検討会が開催され、展示ほ説明を行い農家への周知を図った。また、地域の優良農家の栽培状況も確認し、栽培意欲の向上が図られた(図2)。



図2. さとうきび現地検討会の様子

「新規就農相談日」 & 「制度資金相談日」をはじめました

- 相談対象の方：南部農業改良普及センター管内（14市町村）において就農を希望する方、もしくは農業を営んでいる方。
- 相談のある方は事前にお電話にて相談日の予約と相談カード（相談票）の記入をお願いします。
- 相談カード（相談票）は南部農業改良普及センターのホームページよりダウンロードしていただくか、もしくはFAX送付します。 <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/nokai-nan/index.html>
事前に相談カードの記入が出来ない方は相談当日、はじめにご記入をお願いします。

◆ 新規就農相談日について ◆

月一回、火曜日を基本として相談日を設けました。今年度の開催予定日は以下のとおりです。なお、台風や業務の都合上、日程が変更となる場合があります。

予定日 (5/24,6/14,7/5,8/23,9/13,10/25,12/13
H29 1/28,2/14,3/7)

1件1時間程度となります。

担当(儀間)まで電話予約してください。

事前に「新規就農相談カード」に記入作成し当日ご持参ください。

◆ 制度資金相談日について ◆

～はじめて制度資金について相談のある方～

基本毎週水曜日（毎月4～2回設定）相談日を設けました。今年度の開催予定日はお電話でご確認下さい。

なお、台風や業務の都合上、日程が変更になる場合があります。

1件2時間以内となります。

担当(安藤)まで電話予約してください。

事前に「資金計画相談票」に記入作成し、当日ご持参ください。

(普及企画班 儀間 靖、安藤 さやか)

フレッシュマン紹介！

南部農業改良普及センター園芸技術普及班で果樹を担当する事になりました高原寛剛です。初めての業務でまだまだ不慣れですが、皆様のお力になれるよう尽力していきますので、よろしくお祈りします。



みなさんはじめまして。今年度から野菜担当となりました安次富由乃(あじとみよしの)です。昨年度までは農業研究センター名護支所で果樹を担当していました。初めての分



野でまだまだ不慣れですが、一日でも早く皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお祈りします。

定期人事異動（転入者）

～よろしくお祈りします～

<所 長>

宮里太

<普及企画班>

儀間靖

<地域特産振興班>

山口悟、細井伸浩

<園芸技術普及班>

安次富由乃、松原光里

<離島駐在>

西田公一

転出者～お世話になりました～

喜納兼二、河村太、長元司、

宮城明生、知念雅昭、座喜味利将、

野原正司、與那嶺かおる